

日本学術会議 循環経済を活かし自然再興と調和する
炭素中立社会への移行に関する検討委員会（第26期・第15回）
議事要旨

1. 日 時 令和7年8月20日（水）13:00～15:00

2. 会 場 オンライン開催（Zoom）

3. 出欠（敬称略）

出席：岸本康夫、三枝信子、城山英明、鈴木朋子、辻佳子、土井元章、野口和彦、
橋本禪、松方正彦、松八重一代、森口祐一

欠席：大塚直、北川尚美、北島薫、橋爪真弘

事務局：新田浩史、角田美知子、野田太輝、佐藤有純

4. 議事内容

1) 前回議事要旨の確認

森口委員長より、資料1を用いて第14回の議事録について説明があり、了承された。

2) 関連する公開シンポジウム等の開催状況

森口委員長より、資料2を用いて、8月1日に開催された本委員会共催の水素の多面的利活用に関する公開シンポジウムについて説明がなされ、参加した委員から感想や気づきが紹介された。続いて、森口委員長より、8月19日に開催された防災減災学術委員会主催のシンポジウムの中で行われた気候変動に関連する討論について説明がなされ、参加した委員から感想や気づきが紹介された。また、三枝副会長より、他の委員会のアクションプランの進捗について報告された。さらに、森口委員長より、地球惑星科学委員会・社会貢献分科会での江守委員の気候変動問題と不確実性に関するプレゼンテーションの説明がなされた。

以上の説明に関して、各委員からの意見交換が行われた。

3) 査読意見への対応について

今日時点で査読結果が戻って来ていない為、査読意見に対する対応は、メールベースで対応することを含め、再査読までのプロセスについては委員長に一任することが了承された。

4) 公表時及び公表後のフォローアップに向けた準備について

森口委員長より、資料4に基づいて、提言の公表時および公表後のフォローアップ活動に関するこれまでの議論の振り返りが説明された。フォローアップ活動としての提言の実装に関して、各委員からの意見交換が行われた。

5. 資料

資料1 第26期循環経済を活かし自然再興と調和する炭素中立社会への移行に関する検討委員会第14回議事要旨

資料2 公開シンポジウム「カーボンニュートラルに向けた水素の多面的な利活用～第1回水素を作る～」ポスター

資料3 第13回委員会以降の修正の経緯（第14回資料2-1再配布）

資料4 公表時及び公表後のフォローアップに向けて

参考資料1 内閣府「気候変動に関する世論調査」の概要（平成5年11月）

以上